

【2016年10月8日開催】熊本地震から6か月、東日本大震災から5年。熊本大学×東北大学 市民公開講座「今、ともに学び考える！」を開催します

[Topics] 2016年09月01日

東北大学グローバル安全学トップリーダー育成プログラムでは、このたび、熊本大学グローバルな健康生命科学パイオニア養成プログラムHIGOと連携をとり、来る10月8日(土)午後に熊本大学薬学部において、熊本地震に関する市民公開講座を開催することとなりました。

当日は「講演会」のほかに「講演を10倍楽しむためのプレ講座」と「親子でも参加できる展示・参加体験コーナー」も予定しています。展示・参加体験コーナーでは本プログラムにおいて開発した減災アクションカードゲームの試遊スペースも設ける予定です。

詳細は、下記フライヤーをご覧ください。

[20161008市民公開講座に関するご案内](#)

大地震を経験した熊本と東北。2つの大学院プログラムが、医学、薬学、理学、工学、文学の知識を活かし、地域のみならず共に、健康、安全、防災、減災について学び考えます。多くのみなさまのご参加お待ちしております。

名称：熊本地震から6か月、東日本大震災から5年。熊本大学×東北大学 市民公開講座「今、ともに学び考える！」

■開催日時： 2016年10月8日（土）12:00～18:00

■開催場所： 熊本大学薬学部：熊本市中央区大江本町5-1

最寄り駅：熊本市電 味噌天神

12:00～12:50 「講演を10倍楽しむためのプレ講座」

被災前の熊本城の映像をもう一度！復興への思いを新たに。

熊本大学薬学部 講義棟1F 第一講義室

13:00～16:00 「講演会」

熊本大学薬学部 総合研究棟2F 多目的ホール

12:00～18:00 「展示・参加体験コーナー」

熊本大学薬学部 宮本記念館

■参加費：無料

■講演会題目(13:00～16:00)：

①2016年熊本地震はなぜ、どのように起こったか？

これからの内陸地震を予測するために熊本地震から学ぶこと
遠田 晋次 教授 (東北大学災害科学国際研究所/G-Safety)

②熊本被災地へ！東北大学病院 災害派遣医療チーム(DMAT)の医療支援活動

-ひとりでも多くの命を救うために
佐々木 宏之 助教 (東北大学災害科学国際研究所/東北大学病院)

③熊本城の震災の記録ー「今から」を歴史にするために過去に学ぶ

稲葉継陽 教授 (熊本大学 文学部附属永青文庫研究センター長)

④東日本大震災・熊本地震の経験から復興へ

-経験を教訓に変え、次の世代につなげるために
今村文彦 教授 (東北大学災害科学国際研究所 所長/G-Safety創るユニット長)

⑤なぜ人は災害にうまく対処できないのか？-行動や意思決定のパターンから考える

藤見俊夫 准教授 (熊本大学 大学院自然科学研究科附属減災型社会システム実践研究教育センター)

熊本地震から6か月、東日本大震災から5年。
熊本大学×東北大学
市民公開講座

命

自然

人

健康 安全 減災

社会

大地震を経験した
東北と熊本。
2つの大学院
プログラムが連携して、
知識を活かす!

入場無料
(事前申込不要)

今、ともに学び考える!

2016.10.8(土) 熊本大学薬学部

講演を10倍楽しむためのプレ講座 12:00~12:50 薬学部「第一講義室」

講演会 13:00~16:00 薬学部「多目的ホール」

展示・参加体験コーナー 12:00~18:00 薬学部「宮本記念館」

主催：熊本大学博士課程教育リーディングプログラム
「グローバルな健康生命科学パイオニア養成プログラムHIGO」
東北大学博士課程教育リーディングプログラム
「グローバル安全学トップリーダー育成プログラム」

共催：東北大学災害科学国際研究所
熊本大学大学院自然科学研究科附属減災型社会システム実践研究教育センター
熊本大学文学部附属永青文庫研究センター
熊本大学「熊本復興支援プロジェクト」

後援：熊本日日新聞社

【お問合せ】 熊本大学 博士課程教育リーディングプログラム
国立大学法人熊本大学 教育研究支援部リーディングプログラム推進チーム
〒860-8556 熊本市中央区本荘1-1-1 Phone: 096-373-6832
mail: higo-program@jimu.kumamoto-u.ac.jp
http://higoprogram.jp/public2016

※詳細はHIGOプログラムホームページをご覧ください



2016.10.8(土)

会場：熊本大学薬学部

熊本地震から6か月、
東日本大震災から5年。
熊本大学×東北大学
市民公開講座
今、ともに学び考える！



1 第一講義室 (講義棟内1F)

12:00~12:50
講演を10倍楽しむためのプレ講座

被災前の熊本城の映像をもう一度！
復興への思いを新たに。
解説：稲葉継陽 教授
(熊本大学永青文庫研究センター長)

2 多目的ホール (総合研究棟2F)

13:00~16:00
講演会

お願い：駐車場は台数に限りがありますので
公共交通機関をご利用ください！

- ① 2016年熊本地震はなぜ、どのように起こったか？
これからの内陸地震を予測するために熊本地震から学ぶこと
遠田晋次 教授 (東北大学 災害科学国際研究所 /G-Safety)
- ② 熊本被災地へ！東北大学病院 災害派遣医療チーム(DMAT)の医療支援活動
-ひとりでも多くの命を救うために
佐々木宏之 助教 (東北大学 災害科学国際研究所 / 東北大学病院)
- ③ 熊本城の震災の歴史 - 「今から」を歴史にするために過去に学ぶ
稲葉継陽 教授 (熊本大学 文学部附属永青文庫研究センター長)
- ④ 東日本大震災・熊本地震の経験から復興へ
- 経験を教訓に変え、次の世代につなげるために
今村文彦 教授 (東北大学 災害科学国際研究所長 /G-Safety 創るユニット長)
- ⑤ なぜ人は災害にうまく対処できないのか？ - 行動や意思決定のパターンから考える
藤見俊夫 准教授 (熊本大学 大学院自然科学研究科附属減災型社会システム実践研究教育センター)

3

宮本記念館

12:00~18:00 (随時参加OK)
展示・参加体験コーナー
※各ゲームは10~15分程度

熊本大学HIGOプログラム

医学・薬学を学ぶ大学院生が、地域に寄り添いながら、熊本復興に向けて今できることを考え、発信します！

東北大学G-Safetyプログラム

東日本大震災を受けて、被災地の調査、防災・安全に関する市民への啓発活動などを継続的に行っています。

2つの大学のノウハウを
明日からに活かそう！

講演会

宮本記念館内では多目的ホール
での「講演」を同時中継します。
親子でもご参加いただけます！



展示



- 熊本大学が地域の「避難所」に指定されていることを知っていますか？
- 外国人留学生から見た「熊本地震」とは？
- 災害時の行政の対応は？
- 熊本日日新聞社・ネパールインターンシップレポート
熊本とカトマンズ。大地震を経験した2つの地域を結びつけ、復興に向けたヒントを得よう。

●減災アクションカードゲーム (G-Safety開発)

災害時の対応をイメージ・共有してみよう！

[対象：小学生以上推奨、防災教育を考える方々も歓迎！]

●防災クイズ 身近な自然災害編

「クリッカー」を使ってクイズに答えよう。あなたと同じ回答を選んだ人は何人いるかな？ 結果をみんなで共有しながら防災について学ぼう！

[対象：小学生以上推奨]

参加体験



熊本大学薬学部 (熊本市中央区大江本町5-1)

【交通センターから】

□バス 新外、小峯、京塚、葦山、木山、県庁行きなど「味噌天神前」下車、徒歩5分

□市電 健軍行き、「味噌天神前」下車、徒歩5分

□タクシー 10分

【JR熊本駅から】

□バス 健軍行き「味噌天神前」下車、徒歩5分

□市電 健軍行き「味噌天神前」下車、徒歩5分

□タクシー 10分

【JR新水前寺駅から】

□徒歩 10分

事前申込不要！

【お問合せ】

熊本大学 博士課程教育リーディングプログラム

国立大学法人熊本大学

教育研究支援部リーディングプログラム推進チーム

〒860-8556 熊本市中央区本荘1-1-1

Phone: 096-373-6832

mail: higo-program@jimu.kumamoto-u.ac.jp

http://higoprogram.jp/public2016

